

日本一の暮らしやすさを目指して

Mitama
Ichikawadalmon
Rokugo

新しいまちの将来構想

三珠町・市川大門町・六郷町合併協議会

はじめに

三珠町、市川大門町、六郷町は、安定した行財政基盤の確立、より水準の高い行政サービスの実現を目指して、平成16年4月に三珠町・市川大門町・六郷町任意合併協議会を設置しました。そして3町の議会での議決を経て、7月からは法定の合併協議会として、新しいまちづくりを実現するための検討を重ねています。

「新しいまちの将来構想」^{※1}は、新町のランドデザインの素案として、住民の皆様に、合併後の新町の姿、10年後の新しいまちを目指した取り組みなどを具体的に示し、今後作成される「新町建設計画（10年間の実施計画）」へのご意見をいただくためのたたき台です。

私たち、三町の合併協議会では、この「新しいまちの将来構想」を基にして、ともに考え、意見を出し合うことにより、これからの地方自治を担う責任ある基礎自治体を、皆様とともに創りあげていく絶好の機会と考えています。

積極的なご意見やご提案と、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

平成16年8月

三珠町・市川大門町・六郷町合併協議会

目次

はじめに	1
地域の特性と課題	2
基本的な考え方	3
新町のまちづくりの視点・重点施策の推進	4
新しいまちづくりの方向	
「学ぶまち」	5
「暮らしやすいまち」	7
「楽しむまち」	9
交流のネットワーク	11
今、求められる視点	13
指標「目標年次と人口」、「財政の状況」	14

※1 グランドデザイン／長期的、総合的な全体構想



地域の特性と課題

この地域は、甲府盆地の南西に位置し、芦川、笛吹川、富士川が流れ、水と緑にあふれる自然環境を有しています。

また、和紙、花火、印章等の伝統産業などをはじめ、文化的な資源を有する地域です。

これまで三町は、それぞれに工夫を重ね、公園や温泉、活性化のための拠点施設整備を進め、魅力ある地域づくりに取り組んできました。

また、JR身延線が地域内を南北に運行されるとともに、今後、中部横断自動車道のインターチェンジの設置が予定されるなど、交流の結節点としての発展が期待される地域です。

こうした中で、これまで取り組んできたまちづくりの事業や整備された施設を結びつけ、住民や訪れる人にとって快適なまちづくりを進める必要があります。

さらに、新しいまちには、住民にとって効率的で質の高い行政サービスを提供していくことが期待されています。

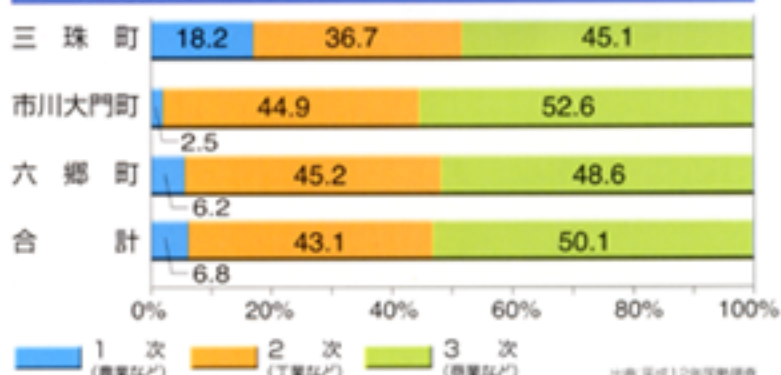
この地域は、産業、歴史や伝統文化、土とのふれあいを通じた、住む人と訪れる人との出会いと交流により、子どもから高齢者まで生き活きと暮らせるまちになる可能性にあふれています。



■人口・面積

	人 口	面 積
三 珠 町	3,994人	29.47km ²
市川大門町	10,808人	32.32km ²
六 郷 町	4,052人	13.28km ²
合 計	18,854人	75.07km ²

■産業別就業人口の割合



基本的な考え方

三町がそれぞれ培ってきたまちづくりを
一体的に継承し、発展させます。

人づくりと安全・快適なまちづくりに全力を注ぎます。

この地域ならではのきらりと光る個性や可能性を活かしていきます。

可能性を引き出し、活かす

1

地域の魅力を
最大限に活かす

- 自然、緑
- 地場産業
(印章、紙、花火、農業)
- 温泉、祭
- 躍動感溢れるまち

3

知恵とアイデアを
出し合い施策を充実する

- 歴史と文化の香りを高める
- 景観、環境に配慮していく
- 伝統産業の付加価値を活かす

2

新しい発展の可能性に
挑戦する

- JR身延線
- 中部横断自動車道
- 温泉施設
- 住宅開発
- 環境にやさしい新産業

4

公共施設を活用する

- 施設をより使いやすく改良する
- 再活用計画、大規模改造を進める
- サービス体制の向上を図る
- 施設の連携を図る
- 生活基盤を重点整備する

方向性

この地域ならではの特色ある地域づくり、住民のための
まちづくりを強力に推進します。

